

こさい議会だより

ぎかいのひろば

No. 195 3月定例会

令和3年5月15日発行

特集

市議会

図書館ボランティア

- 4 ● 3月定例会ではこんなことが決まりました
- 7 ● わたしたちのお金、どう使う？(令和3年度予算審査)
- 10 ● そこが聞きたい！！一般質問
- 16 ● 常任委員会、特別委員会の活動報告
- 19 ● 高校生が議場見学に来ました！
- 20 ● あの質問どうなったの？



※写真撮影の際だけ、マスクを外しています。

図書館ボランティア



特集

絵本の読み聞かせや人形劇などを通して、子どもたちに笑顔を届けている図書館ボランティア。7つあるグループのうち、3グループ（たんぽぽ、おはなし水曜日、七色クレヨン）の方々にお話を伺いました。

読み聞かせボランティアになったきっかけは？

- 図書館で開催された読み聞かせ講座を受講したことがきっかけです。
- 子どもが小さいときに小学校のボランティアから始め、今のグループに入りました。

どんなことを行っていますか？

- 図書館のおはなし会や夏・秋のイベントで、絵本・紙芝居の読み聞かせ、人形劇、簡単な工作などを行っています。
- 小学校や浜名特別支援学校からの依頼で、読み聞かせやパネルシアターを行いに出向くこともあります。



◀ 図書館イベントでの活動の様子

活動の頻度は？

- 図書館のおはなし会(毎月)、夏・秋のイベントに参加しています。
- グループによっては、月1回程度集まって活動することもあります。



嬉しかったこと、良かったこと、大変だったことは？

- 子どもが興味のある本に出会ったり、目を輝かせてくれたりすることが幸せです。
- 子どもの笑顔を間近に見られることが、続けていく力になります。
- おはなし会に来ていた子が親となり、子どもや家族を連れて来てくれたことが嬉しかったです。
- 「おもしろかった」「楽しみにしている」という言葉に励まされます。
- コロナで距離を取らなくてはならなくなり、以前より親密な関係が持てなくなっているのが残念です。



市や議会に望むことは？

- 子どもと絵本との橋渡しのためのイベントを開催してほしいです。
- 図書館の大型絵本の冊数を増やしてほしいです。

市民に伝えたいことは？

- 子どもの頃に絵本を読んでもらった経験は、その後の人生の糧になるので、読み聞かせを継承していくことが大切です。
- 小さい頃から図書館に通う習慣がつくとよいと思います。図書館は楽しいところだと知ってもらいたいです。

図書館ボランティアのみなさんにお会いして、読み聞かせの大切さがよく分かりました。読み聞かせを通して子どもたちの心は優しく育ち、家族の絆が一層深まり、また他者への思いやりの気持ちも生まれます。子どもたちが食い入るように絵本を見つめ、真剣に耳を傾けてくれることが喜びだということが、ひしひしと伝わってきました。



☆湖西市立図書館では随時、ボランティアを募集しています。絵本の読み聞かせのほか、季節のイベントでの人形劇など様々な活動を通して図書館を一緒に盛り上げてみませんか？

少しでも興味がある方は、ぜひお気軽に図書館までお問い合わせください。

湖西市立中央図書館 ☎053-576-4351

3月定例会ではこんなことが決まりました

3月 定例会

— 会 期 —
2月19日
〜
3月24日

- ✓ 条例の一部改正……………19件
- ✓ 補正予算……………7件
- ✓ 人事案件……………16件
- ✓ 令和3年度予算……………7件
- ✓ その他……………7件

合計 56件

この中から
2つの質問を
紹介します!!

議案第1・3～17号

人事案件

教育長

わたなべのぶひろ
渡辺宜宏氏(白須賀)を引き続き選任することに同意した。

農業委員会委員

次の14名を任命することに同意した。

すずき まさとし 鈴木真聡氏(古見)、やまもとたかひろ 山本敬博氏(大知波)、すがまじゅんいち 菅沼純一氏(新所)、
おおた たつお 太田達男氏(白須賀)、かわべ かつひこ 河邊勝彦氏(新所原東) ※1

いしだ まなぶ 石田学氏(太田) ※2

うちやまよしろう 内山吉朗氏(吉美)、いけだ まさみ 池田雅美氏(入出)、とやま まさこ 外山雅子氏(入出)、
たかす としお 高須俊夫氏(白須賀)、いしだ ひろあき 石田浩章氏(横山)、しばた かつよし 柴田克芳氏(新居町新居)、
ひきだ あきひさ 疋田晃久氏(新居町浜名)、やまもと はるお 山本晴夫氏(白須賀)

※1 認定農業者 ※2 認定農業者に準ずる者

人権擁護委員

しみず まさる
清水勝氏(新居町新居)を引き続き選任することに同意した。

行政手続における押印の見直しに係る条例の制定を可決

全員賛成により可決した。行政手続の効率化推進のため、職員のサービスの宣誓に関する条例及び湖西市固定資産評価審査委員会条例において押印を義務付けする規定を削るものである。

問

帳票の変更など、実務の変更はいつからか。また、期待できる効果は。

答

押印を規定する字句及び様式中の印の記号を削除するもので、公布の日から変更を行う。対象者が限定されているので、事務手続の簡素化程度の効果だが、これ以外に規則や要綱などで規定されている押印を廃止することにより、市民サービスの向上に繋がるものと期待している。

環境センター設備改良工事及び運営委託事業の契約締結を可決

公募型プロポーザル方式で契約の相手方を選定し、基本協定の締結を経て行われた契約協議の結果、双方合意に達したため、株式会社こさいEサービスと194億3,120万3,672円で契約を締結するので、全員賛成により可決した。

公募型プロポーザル方式とは

高度な知識・技術や創造性、構想力、ノウハウや応用力が要求される業務等の契約について、公募により複数の事業者から対象業務に関する企画書、提案書等を提出させ、価格のみによる競争ではなく、企画力、技術力、専門性、実績等により最も優れた者を選定する方式のこと。

問

基幹的設備改良工事と長期包括運営委託事業の概略金額は。

答

令和3～5年度の基幹的設備改良工事に約62億円、令和3～25年度までの長期包括運営事業に約132億円、合計194億円超の契約額となっている。国からの交付金・補助金は、焼却施設に二酸化炭素排出抑制対策補助金約22億円、リサイクルプラザ長寿命化に二酸化炭素排出抑制対策交付金約3億5千万円、汚泥受入設備に社会資本整備総合交付金1億6千万円、市債は約30億円を見込んでいる。なお、対象となるのは工事のみで、長期包括運営委託事業に関しては市財源から捻出する。

賛否が分かれた議案一覧

議案番号	議案名	結果	柴田一雄	加藤治司	滝本幸夫	三上元	福永桂子	菅沼淳	土屋和幸	高柳達弥	楠浩幸	佐原佳美	吉田建二	加藤弘己	竹内祐子	荻野利明	馬場衛	中村博行	神谷里枝	二橋益良
24	湖西市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○
45	令和3年度湖西市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	●	○	●	○	○
46	令和3年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○
51	令和3年度湖西市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(加藤弘己)は採決に加わらない。

令和3年度予算

わたしたちのお金、 どう使う？

令和3年度各会計予算を可決

PICK UP!

令和3年度各会計予算を以下の委員会に付託して審査を行った。

予算特別委員会

→ 一般会計

総務経済委員会

→ 国民健康保険・後期高齢者医療事業予算

福祉教育委員会

→ 介護保険・病院事業予算

建設環境委員会

→ 公共下水道・水道事業予算

今回は予算特別委員会の中から、いくつかの質疑を

PICK UP!

令和3年度各会計予算

会計区分		令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	対前年度比 ※▲は減額
一般会計		21,620,000	21,710,000	▲0.4%
特別会計	国民健康保険事業	5,616,000	5,633,800	▲0.3%
	介護保険事業	4,144,140	4,181,849	▲0.9%
	後期高齢者医療事業	729,000	713,784	2.10%
企業会計	公共下水道事業	2,525,151	2,542,564	▲0.7%
	水道事業	1,840,272	1,567,396	17.40%
	病院事業	3,954,415	3,913,105	1.10%
合計		40,428,978	40,262,498	0.40%

(単位：千円)

財産収入

問 財産収入の対象となった市有土地の所在と面積は。

答 新居地区 宅地 5筆、面積約280㎡、
入出地区 宅地 3筆、面積約860㎡、
ときわ地区 雑種地 3筆、面積約470㎡、
鷺津地区 宅地 1筆、面積約1,110㎡、
合計約2,720㎡の売却を予定している。

市民協働

問 自治会運営費の削減根拠をどうとらえているのか。

答 自治会へも説明をしたうえで、平成30年度から世帯割の算出の方法を住民基本台帳世帯数から自治会加入世帯数に変更したことで、自治会の運営に急激な負担がかからないよう緩和措置として、3年間かけて平準化している。

市制50周年

問 市制50周年事業の企画をどう考えるか。令和3年度の事業計画は。

答 市の発展を支えてきた先人を称え、本市に関わる全ての人と、共に祝う事業と考え、市制50周年を契機に将来に繋がるような事業を企画したい。令和3年度は、庁内プロジェクトチーム、市民からのアイデアをもとに、商工会・青年会議所・庁内及び庁外の関係団体などと事業実施に向けた調整を行い、令和3年度のできるだけ早期に年間スケジュールを公表したい。また、広報こさいやSNSなど様々なツールにより周知していく。

敬老の日

問 令和2年度予算より326万4千円も減額の敬老会開催事業費の詳細は。

答 これまでは一同開催方式で式典を実施してきたが近年は参加率が1割程度と参加率の減少に加え、新型コロナの感染が蔓延している状況下などから開催方法を見直した。今後は、市が主催する一同開催という形ではなく、各地域での開催への支援を行い、敬老行事なども取り入れた活動を行えるよう支援したい。



▲市制50周年ロゴマーク

新型コロナウイルス感染症

問 新型コロナウイルスワクチン接種における副反応が出た場合の体制確保は。

答 接種会場には複数の医師・看護師が従事しているため、接種者が副反応を発生した場合には、迅速に対処できるよう緊急対応時の医師・看護師を事前に決める予定である。
また、病院への搬送の事態に備え、消防署及び湖西病院にワクチン接種日時や会場を情報提供し、連携していきたい。

畜産

問 食肉センター整備負担金の概要は。

答 全体事業費70億7千万円に対し、国庫補助が31億6千万円、県の負担が34億5千万円、各市町の負担が4億6千万円となった。各市町の負担は、実際に小笠食肉センター、浜松食肉市場を利用していた応益負担としての出荷頭数割と、豚及び肉牛の飼養頭数割にて負担金を算出することとし、出荷頭数、飼養頭数共に多い当市は、市町が負担する4億6千万円の32.17%に当たる約1億5千万円を負担することとなった。5年間の事業であるため、各年度の進捗見込み割合により、令和3年度は、1,356万8千円を計上した。

食肉センター整備とは

平成26年度から県が中心となり、老朽化した小笠食肉センターの建替え及び建替えに伴う浜松市営の食肉市場の統合について検討を進め、令和2年度県主体となる公設事業で整備することで決定した事業。令和3年度から令和7年度の5年間の計画で、1日当たり、豚880頭、牛50頭を処理できる施設を整備する。

道路

問 横須賀橋郷北線(鷲津踏切)道路改良事業 どのような工事内容か。

答 現在の踏切の鷲津駅側に歩道を設置するもので、鷲津駅側から歩道2.0m、施設帯1.5m、車道3.6m(現況と同じ幅)、横須賀川という並びに改良する。令和3年10月頃から工事着手し、完了は令和5年1月頃を予定している。

教育

問 G I G Aスクール構想推進 令和3年度の計画予定は。

答 日常的に授業等でタブレットの利用ができるよう環境づくりに取り組んでいく。主な内容は、わかりやすく円滑な授業進行ができるようICT機器を活用した授業のサポート、授業で使用できるデジタル教材の作成、教員の研修会の開催など、学校へのICT支援員の派遣を拡充する。また、機器のトラブルなどに対する技術支援、ICT活用方法への助言やサポートの充実を図るなど、教員の支援体制を充実する予定である。

消防

問 化学消防ポンプ自動車はどのような災害で使用されるのか。使用される頻度は。

答 主に液状の危険物火災や化学物質火災など、水による消火が不可能または困難な火災への対応を第一の目的としているが、当消防本部では幅広く車両の運用を行っていることから、通常の火災全般、油漏れやガス漏れなどの警戒出動、ヘリ支援など、使用は多岐にわたる。過去3年の出動件数は毎年60件前後であり、令和3年度も同程度の出動を予測している。

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今3月定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。



湖西市議会公式サイト

▶▶▶ ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

湖西市議会 再生リスト
令和3年3月定例会

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>



湖西市議会

▶ 本会議インターネット放送

▶ 本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)



神谷 里枝 議員

DX 推進による行財政改革について

問 行政手続きのオンライン化について、押印の見直しは。

答 令和2年度にプロジェクトチームを立ち上げ、オンライン化推進のため、デジタル化の前段階として押印見直しを行うこととし、結果、押印を求める1,384件のうち、押印の廃止ができない契約書や請求書関係など173件を残し、1,211件以上の申請書などの押印が廃止できる見込みである。

施政方針について

問 市制50周年記念事業における中高年齢層の参画への考えは。

答 年齢、国籍など関係なく、市民皆さんに50周年を実感してもらい、誰もが自分事として考えてもらうようなきっかけになる企画を作りたい。大勢の方々に参加いただくため、幅広く意見交換により情報収集し、意見を反映させたい。

湖西版「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

問 小・中学校の適正規模・適正配置の考え方は。

答 適正規模は、学校教育法施行規則第41条において「12学級以上18学級以下」が標準とされているが「地域の実態その他の特別の事情があるときはこの限りでない」とされ、弾力的に考えている。適正配置は、児童生徒の負担面や安全面などに配慮し、地域の実態を踏まえた適切な通学条件や通学手段が確保されることが必要と考えている。なお、令和3年2月の総合教育会議では「学校規模の適正化について」が協議され、令和3年度から小・中学校の適正

規模、適正配置については、学校教育施設適正化検討委員会で具体的に検討していく予定である。

問 小学校高学年からの教科担任制の導入について教科と人材確保は。

答 少しずつだが、小学校の教科担任制への動きは進んでいる。しかし、増員するための財源の確保、保有する免許によって配置できる教員が限定されることや学校規模など、課題もある。本市においては、県の事業と連携しながら、導入教科と人材確保について検討していきたい。



楠 浩幸 議員

湖西市における廃棄物処分対策の推進について

03



高柳 達弥 議員

問 ごみ排出量の現状と将来に向けた減量化・資源化への推進策は。

答 市内で発生する年間のごみ総排出量は、家庭からが約15,000t、事業者からが約5,000tであり、近年はともに横ばいで推移している。将来に向けた減量化・資源化への取り組みとして、現在「湖西市ごみ減量市民会議」で議論いただいているほか、スマホアプリ及び出前講座などでPR活動を継続して実施することにより、市民一人一人の意識の向上を図れるよう取り組んでいる。

問 生ごみの減量・再利用への取り組みは。

答 市販されている生ごみ減量化容器の購入費に対して補助金を交付し、生ごみを減量する市民に対する支援を実施している。また、粗大ごみとして持ち込まれた「たんす」の引き出しを活用し、製作した生ごみ消滅型容器キエーロの無料配布も実施している。今後も制度の啓発を図りたい。

04



滝本 幸夫 議員

空き家対策と活用について

問 特定空き家等に関する措置としての法整備は。

答 平成26年「空家等対策の推進に関する特別措置法」が制定され、保安上危険となるおそれのある状態の空家等を「特定空家等」と定義し、所有者等へ適切な管理のための、助言、指導、勧告、命令等の対応を行うことができるとされた。本市では、平成31年2月に「湖西市空家等対策計画」を策定し、対応を行っている。

問 近隣住民に影響を及ぼす維持管理がされていない空き家所有者への指導内容と件数は。

答 平成25年度に自治会に報告をいただき経過観察を行っている空き家が30件ある。令和2年度の市民からの相談は、瓦やトタン板など建物からの飛散に関するものが5件、草木の繁茂に関するものが6件であった。そのうち、それぞれ1件は対応いただけたが、その他は引き続き対応をお願いしている。

湖西市都市計画マスタープランについて

05



加藤 治司 議員

問 コロナ対策に伴う財政支出や政策による都市計画マスタープランへの影響は。

答 都市計画マスタープランは、概ね20年後の将来を見据え、土地利用、都市施設や市街地開発などの都市計画決定の根拠となる計画である。コロナの影響により税収減となり厳しい財政状況であるが、マスタープランに示された事業は優先して行っているため、コロナによる影響は今のところ無い。

問 湖西市立地適正化計画の策定に合わせ、都市計画マスタープラン変更への考えは。

答 立地適正化計画は、社会経済情勢の大きな変化の中、将来の人口減少や少子高齢化においても持続可能なまちづくりを推進するため、都市計画マスタープランの「集約・連携型の都市構造」(コンパクトシティ)を具体的に示した計画であるため変更の考えはない。今後、計画に変更の必要が生じた際には、見直しを行う。

市制50周年記念事業の実施について

問 現時点での50周年記念事業、イベントなどの予定は。

答 庁内若手職員で構成するプロジェクトチーム、KSL、JC（浜名湖青年会議所）、市民の皆様から多くのアイデアをいただいております。今後は協議・調整を進めながら、市民をはじめ市に関わる多くの方々と共に祝い、50周年を機に将来に繋がるような事業やイベントを決定していきたい。また、50周年記念ロゴマークを多くの皆様に活用していただき、気運の醸成や事業の周知に繋がるよう努めたい。

KSL (Kosai Saiko Labo)

…市内在住、在勤の若い世代の方が、未来の湖西について様々なテーマで意見交換を行うことを目的とした集まり。

コロナ禍での新たな職住近接施策の推進について

問 当市に住むと「充実したライフスタイルが送れる」ともっと情報発信しては。

答 市の移住・定住促進サイト「湖西で暮らそう。」に移住者の生の声を掲載しているほか、コロナ禍でオンラインでの移住相談が増加していることから、タブレットを活用した情報発信も検討している。また、東京圏・中京圏などから地方でのサテライトオフィスの開設やテレワークを活用した移住に対する関心が高まっており、令和3年度は、空き店舗や空き家を利活用し、創業や新規出店などを行う方への新たな支援制度を創設したい。



馬場 衛 議員



荻野 利明 議員

小学校35人学級への効果と課題は

問 いじめ問題・不登校問題などへの効果は。

答 静岡県では独自の施策として「静岡式35人学級編成」が実施されている。いじめや不登校などへの対応は学校全体で行っているが、最も関わりが大きいのは学級担任である。個に応じた対応が必要なため、1学級の人数が少なければ、それだけ一人一人への対応が行き届いたものになりやすいと考える。

生活保護行政について

問 「扶養照会」をやめるべきと考えるが、市では適切な運営がされているか。

答 扶養照会は3親等内の親族を対象に実施しているが、全ての扶養義務者に対して照会しているわけではなく、厚生労働省からの通知や県の指導のとおり、未成年者や高齢者およびDV当事者などで扶養義務の履行が期待できない者に対しては取り止めており、適切な運用をしていると考えている。令和3年2月26日付通知で扶養照会の取り扱い方法が改正されたため、今後は示された基準に沿って対応していく。

避難所開設手順が分かる「初動活動ボックス」の配備について

問 「初動活動ボックス」を早期に各指定避難所に配備すべきでは

答 大規模災害が発生した際に、どのような方が避難してきてもスムーズに避難所開設ができるようにすることは重要である。先進事例を参考にし、避難所運営連絡会などでご意見を伺い、整備に向けて検討していく。

その他の質問…発達に課題を持つ子どもへの支援について

「重大いじめ対応マニュアル湖西市版」の作成について

問 いじめが原因で不登校になると思われる児童・生徒の現況は

答 令和3年2月8日現在で不登校児童が26人、生徒が50人いるが、その原因は友人関係、学業不振、部活動への不応、家庭環境など様々で、複雑に絡み合っており、いじめなど一つの原因で不登校になっている例は認識しづらい現状にある。



佐原 佳美 議員

湖西地域職業訓練センターの活用について

問 今後の湖西地域職業訓練センターをどのように活用していくのか。

答 モノづくり産業の振興に関する総合的な検討を進めていく中で、職業訓練センターに求められる役割は大きくなっていくものと考えており、従来の役割や講座などの内容についても、時代に即したものに变革していく必要がある。市内の一部業者からは共同試験設備の整備などを望む声もあることから、今後市内の幅広いモノづくり企業にヒアリングを実施し、活用方針などを関係者と検討していきたい。

施政方針について

問 新居弁天地区におけるわんぱくランドの位置づけは

答 観光拠点となるようなポテンシャルを持った地区であると認識しており、これまでも浜松土木事務所、地元や関係者の方々と勉強会を実施してきた。市だけでなく民間事業者の力も活用しながら、年間通じて賑わいのある拠点となるようサウンディング調査を実施する。また、国土交通省の進める「みなと」を核としたまちづくりの促進を目的とする「みなとオアシス」の令和3年度認定に向け、申請を終えたところである。昭和47年開園のわんぱくランドは施設の老朽化に加え、令和2年はコロナで開園ができなかった。わんぱくランドの今後については慎重に検討したい。

サウンディング調査

…市有地の有効活用について、民間事業者から土地活用に係る提案を募集し、ヒアリングを実施することによる調査。



二橋 益良 議員

湖西市の認知症対策について

問 認知症についての相談件数・啓発活動の状況は。

答 相談件数は年々増加傾向にあり、令和元年度は313件あった。啓発活動として、ひとり暮らし高齢者宅の訪問活動、講演会・相談会、認知症サポーター養成講座などを行っているが、認知症高齢者は2025年には65歳以上の5人に1人となるといわれており、湖西市では約3,000人になると見込まれる。市では、相談支援の必要な方が埋もれることのないよう、啓発活動や見守り体制の充実を図っている。

問 成年後見人制度は十分利用されているのか。今年度の実績は。

答 令和2年度の相談件数は32件、市長申し立てによる制度活用は7件あった（1月末時点）。地域包括支援センターとともに周知を行っているが、身寄りのない高齢者への対応が課題であり、地域ケア会議などで検討を進めているほか、地域包括支援センターと司法書士との勉強会を開催している。今後も周知啓発に努めていきたい。



土屋 和幸 議員

市民協働の更なる促進に向けて

問 自治会が抱える課題を緩和するように支援していく考えは。

答 自治会で抱えている問題はその都度市へ相談するよう促し、相談を受けた担当課では、迅速な対応を心掛けている。課題に対する支援例として、役員不足の問題では、人材発掘も兼ね、女性役員の登用に對して交付金の上乗せの制度を設けている。今後も自治会に寄り添った支援を続けていく考えである。

施政方針について

問 湖西病院地域包括ケア病床の病棟化に向けて体制整備は。

答 従来の病院改革プランでは、令和4年度の3病棟目の再開と合わせて行う計画であったが、コロナ禍により先が見通せない状況である。現在の2病棟体制下で、従来の診療科別の病床管理から病期別病床管理、いわゆる主に急性期を担当する病棟と、回復期を担当する病棟の体制へと切り替えていく予定である。



吉田 建二 議員



菅沼 淳 議員

喫煙における分煙・環境整備について

問 喫煙規制、増税などが続けばたばこ税収は減少し予算に影響を与えらると思うが、市の考えは。

答 たばこ税については、売上本数は減少傾向にあるが、国による税率引上げ実施があり、年度により増減はあるものの毎年約3億円以上が歳入されている。市としては大変貴重な財源であると認識している。

問 市として、今後、公共の場所への喫煙所設置に取り組む考えは。

答 令和2年4月に改正健康増進法が全面施行され、原則すべての建物で屋内禁煙と定められている。学校や病院、市役所は第1種施設で敷地内禁煙、体育館や図書館などは第2種施設に含まれ、原則屋内禁煙である。

本市は、令和元年7月の一部施行時から第1種施設は全面禁煙、第2種施設は施設内禁煙、一部の施設を除いて敷地内禁煙を実施しており、望まない受動喫煙防止の推進、また防災の観点から原則敷地内禁煙を継続していきたいと考えている。

積極的な女性職員の管理職登用と環境整備について

問 女性職員の管理職登用に必要なキャリア形成のマネジメントについて、包括的な計画はあるか。

答 OJT研修、階層別研修、外部研修の実施に加え、人事評価制度の活用等により職員に必要なキャリア形成に努めている。時差出勤制度や在宅勤務制度を試行的に実施して、職場環境の改善にも取り組んでいるところである。

問 職員が産休・育休を取りやすいように、周知・啓発はしているか。

答 「女性の職業生活における活躍推進に関する法律」に基づいて、「湖西市特定事業主行動計画」を平成27年度に作成し、育児休暇の取得率向上を目標にあげ、折に触れて、計画内容を職員に周知し、男性職員にも育児休暇を取りやすい環境づくりに努めているところである。



福永 桂子 議員

水道料金収納業務等の共同化における原価計算について

14



三上 元 議員

問 他事例の問題に対する対策を考えた上での方針発表であったのか。

答 今回の水道料金収納業務等の共同化は、豊橋市が既に契約を締結している「豊橋市上下水道局収納業務等包括業務委託」の受託業者に対し、湖西市が水道料金収納業務等を令和4年度から令和6年度まで委託するものである。委託にあたり、3か年の包括業務委託を予定しているため、年度ごとに価格が変動することはないと考えている。

問 料金収納業務の委託に続き、水道事業全部を民間に委託しようという展望なのか。

答 今回の水道料金収納業務等の共同化に続き、水道事業全部を民間に委託する展望はない。

施政方針について

15



中村 博行 議員

問 地域医療の中核病院としての湖西病院とは、どのような病院か。

答 何かあった時には安心して医療にかかれることが第一であり、24時間365日の救急体制は堅持しつつ、一般急性期及び回復期の入院医療とかかりつけ医機能や在宅医療も整備しなければならない。加えて、住民検診を始めとした保健事業活動を行い、そして現状のコロナ禍のような不測の事態に市内唯一の公立病院として、必要に応じて採算のとれない医療への対応をすることが中核病院としての役割と考えている。

問 24時間365日の救急医療体制堅持で、課題をどのように捉えているか。

答 医療スタッフの確保が最重要課題と考えている。

施政方針について

16



柴田 一雄 議員

問 農林水産事業者が抱える課題を解消するための支援や、地域が一体となって連携を図ることができる「モノづくり産業ネットワークの構築」とは。

答 農林水産業の分野については、後継者不足など、様々な課題を抱えていることから、令和3年度に、本市としての農林水産業の振興に係る考え方や目標をまとめた基本的な計画を策定し、漁業についても静岡県、浜松市、漁協など、連携を図っ

て環浜名湖が一体となって資源を確保し、安定した収入が得られ、従業者が後継者の育成をできることを考えている。

モノづくり産業ネットワークについては、「モノづくり推進室」を設置して、モノづくり人材の育成のほか企業などとの連携を進めていく。まずは製造業を中心に対策を講じていくが、農林水産業についても別途、基本計画を作って推進していく考えである。

常任委員会 中間報告

令和元年5月17日の任用開始から、各常任委員会では所管する分野の調査研究をしてきました。

そして市政の発展に最も寄与できる内容について検討し、令和3年2月19日に市長へ提言を行いました。

※報告書の全文は、
市ウェブサイトに掲載しています。



▲市長へ提言書を提出

総務経済委員会

当市は、めざすまちの姿の一つに「産業の発展や交流による活力あふれるまち」を掲げ取り組んでいますが、いくつかの課題を抱えているといえます。

当委員会としては「産業の振興」を主題にして、以下の2項目を研究課題とし調査研究しました。

「遊休農地・耕作放棄地の解消を目指した農業の振興」

- 県の農地中間管理機構と連携した、農地中間管理事業の積極的な推進による農地の集積。
- 人・農地プランを活用した遊休農地、耕作放棄地になる前の情報共有。
- 新規就農者の安定した農業経営の基盤を作るための支援体制、補助制度の強化。
- 基盤整備された農業用施設の老朽化に伴う大規模修繕。
- 現在の農業経営に合わせた農地の再整備。

「観光事業の拡充を通じた商業の振興」

- 本市の新たな観光の拠点づくりとして、既存の施設を活かした「新居弁天地域観光利活用の基本構想」の作成。
- 新居弁天地域観光利活用事業は、次期観光基本計画の柱の中でも重要事業と捉えて、湖西市議会としても支援が必要であれば、国、県への積極的な働きかけを実施。
- 二つの観光協会の統合に向けた支援。

総務経済委員会としては、事業の推進にあたり上記の内容について今後、重点的に取り組んでいくことを当局に期待します。

福祉教育委員会

市の目指す『住み続けたいまち』、『職住近接』においては、生涯学習・スポーツ推進による市の魅力を高めることが必要かつ重要なことであるとして、調査研究を重ねました。

【生涯学習の推進について】

生涯学習は、一人ひとりが自己の実現と自らの生活の向上を目指すため、各人が生涯にわたって自発的に学習するための機会の整備・推進するための取り組みが必要です。

1. 生涯学習施策「生涯学習推進計画」を展開する組織体制を確立すること。
2. 生涯学習の場・機会の創出を図ること。

【スポーツの推進について】

スポーツ推進は、健康づくり、体力づくり、競技力の向上等とそれぞれの視点からスポーツに対する必要性を認識し、それぞれのライフステージに応じて取り組むことのできる機会・場所の提供やスポーツ団体組織の育成や指導者の確保等が必要です。

1. スポーツの場・機会の創出を図ること。
2. 子ども達には体を動かすことの楽しさを、保護者には子どもが運動することの重要性を伝える広報を十分に行うこと。
3. スポーツ推進委員の役割を明確にし、誰でも気軽に参加できるスポーツの推進を図ること。
4. デカスポテニスの普及啓発に努めること。
5. スポーツ活動が楽しめる環境の整備や体育施設の充実を図ること。

建設環境委員会

少子高齢社会による人口減少から既存集落のコミュニティの維持が困難な地域が見られ、持続可能なコミュニティの構築が求められている現在、建設環境委員会では、「湖西の自然を活かした人が集まる未来あるまちづくり」をテーマにSDGsの推進、カーボンニュートラル、デジタル社会等の調査研究を行い、以下の内容を市長へ政策提言しました。

●災害に強い持続可能なスマートシティの推進

- (1) 災害に強い持続可能なスマートシティモデル地域の建設
- (2) 脱炭素社会をめざすべく、自然エネルギーの活用を目的とした条例の制定
- (3) 人材育成を含めた「まちづくり管理運営団体」の研究

●湖西市立地適正化計画の確実な推進

- (1) 市街化区域の未利用地の活用促進
- (2) 行政組織の横断的な運営を目的としたプロジェクトチームの設立

特別委員会活動報告

令和元年6月19日に設置されて以来、調査研究を行ってきました。令和3年3月定例会で調査報告を行い、活動を終了しましたので、報告の一部を次のとおり掲載します。

議会活性化推進特別委員会

当特別委員会では、議会の活性化を図ることを目的とし以下の取り組みを実施しました。

- 1 すべての会議において、タブレットを用いた会議運営を実施しました。
- 2 議会基本条例の見直しにより以下を実現しました。
 - 政務活動費関係書類の公開などのウェブサイトの充実
 - 議論の論点・争点の明確化を目的とした執行部への反問権の付与
- 3 若者に市政への関心を持ってもらうための高校生との意見交換会を毎年実施しました。
※令和2年度はコロナ禍の影響により、意見交換は書面で実施となりました。

今後の課題として、有事の際でも議会活動を停止させないために、ICT技術の積極的な活用、議会運営の方法などを含む、議会活性化への課題の調査・研究は今後も引き続き必要だと考えます。

子どもの未来創造応援特別委員会

湖西市では、『湖西市子ども・子育て支援事業計画』の下、様々な子育て支援事業に取り組んでいますが、近年の子どもの減少は国や県よりも加速しています。また、発達に障害があると思われる子どもの増加が、教職員の増員や放課後等デイサービスへの給付金の増加からも見てとれます。

このことから、子どもの未来創造応援特別委員会では、未来を担う子どもの育成のため、様々な課題の抽出や分類を行い、「健全育成」「交通安全」「食の安全」の3つの重点項目について調査研究を行い、次の内容の政策提言を市長へ行いました。

1. 発達に課題を持つ児童への支援拠点を設置すること
 - (1) 的確な支援情報をワンストップで提供でき、幼児期から就労等までの各ライフステージに情報をつなげていく役割を担うことで、不安を持つ子どもや保護者に寄り添うこと。
 - (2) 途切れのない支援を目指し、全庁的に情報共有できるような連携システムを構築すること。
2. 子どもの安心・安全な環境づくりを推進すること
 - (1) 交通安全として、市民の声を聞きながら引き続き通学路の整備を進めること。また、行政が中心となって子どもを見守る組織体制の維持や設立等を支援すること。
 - (2) 食の安全として、給食センターの早期整備を実現し、より安全な給食を提供すること。

報告書の全文は、ウェブサイトに掲載しています。

「高校生が議場見学に来ました！」

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことから、若者がまちづくりを考えるきっかけづくりとするため、例年新居・湖西両高校生との意見交換会を開催してきました。今年度も意見交換会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議員との対面による意見交換を避け、日頃から行動をともにしている生徒達同士による議場見学へと変更いたしました。



新居高校

令和3年1月15日



授業で振り返ってくれました！ ※抜粋

【選挙に行こうと思いますか。その理由。】

そう思う(9人) 少し思う(11人)

あまり思わない(5人) 全然思わない(0人) ※25人中

⇒行こうと思っている生徒が多いことがわかる。

理由

- 権利があるのにに行かないのはもったいない。
- 若者の意見を取り入れてほしい
- 自分の町を良くしたいから

【議員にどのような人、どのような政策を期待しますか。】

- 暮らしの豊かさにつながる政策
- 市民の意見をよく聞き、行動できる人
- 将来を良くしようとする人
- 適切な判断ができる人
- 普通の市民の意見を聞いてくれる人

湖西高校

令和3年1月22日



書面で質問をいただきました！ ※抜粋

【コロナ感染症における影響について】

Q 湖西市は、1日に何件PCR検査を行っていますか。
A 湖西市が設置した地域外来・検査センターでは、週4日(月・火・水・金)実施しています。PCR検査は市内の医療機関が必要と判断した患者が受けられるため、1日の検査件数は、まちまちです。今までの検査数は、市のウェブサイトで公表していますので、ぜひ確認してください。ちなみに、市のほかに県でもPCR検査を実施していますので、湖西市民の検査総数はわかりません。

【18歳からの選挙権について】

Q 選挙活動の演説を聞いたことがあるのですが、どの人も似たりよったりのことを言っていることが多く、選ぶことが難しい印象があったのでどのように選べばいいでしょうか。

A 街頭演説では、簡単過ぎて本人の特色が伝わらないのかと思います。しかしそれぞれの人のチラシを見れば違いが分かります。選挙日の数日前に全戸配布される選挙公報を見れば違いが鮮明になります。

※この様子は、市ウェブサイトに掲載しています。

あの質問、 どうなったの？

過去の定例会で行われた一般質問が、その後どう取り組まれたのかを追跡します。

議会だより No.191 掲載

(令和2年5月15日付発行)

浜名湖の漁業振興施策と観光について

問 湖西市観光協会と新居町観光協会の一元化について伺う。

答 独立した協会の立ち上げのために支援を継続し、2～3年以内を目標に両観光協会の統合・独立を目指していきたい。

追跡してみると



現在、湖西市と新居町の両観光協会役員による連絡協議会が設けられ、まずは一元化に向けた準備会議を今年6月に立ち上げるべく調整が進められています。

準備会議設置後は、一元化した新しい組織を令和4年4月に開設することを目標として本格的な検討が開始されます。

市議会からのお知らせ

「ぎかいのひろば」を スマホでも！

マチイロ を使えば、

ぎかいのひろば をスマートフォンで読むことができます。
(※別途通信料がかかります。)



利用
方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住いの地域を「湖西市」に設定



編集委員 (◎は委員長、○は副委員長)

- ◎加藤 弘己 ○吉田 建二 柴田 一雄 加藤 治司
滝本 幸夫 福永 桂子 竹内 祐子 荻野 利明

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/30	31	6/1	2 10:00～ 本会議第1日	3	4	5
6	7	8	9	10 10:00～ 本会議第2日 (一般質問)	11 10:00～ 本会議第3日 (一般質問)	12
13	14 10:00～ 本会議第4日 (一般質問)	15	16 10:00～ 本会議第5日	17 10:00～ 総務経済 委員会	18 10:00～ 福祉教育 委員会	19
20	21 10:00～ 建設環境 委員会	22	23	24 10:00～ 本会議第6日	25	26
27	28	29	30	7/1	2	3

予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

こさい議会だより

ぎかいのひろば

No. 195

令和3年5月15日発行

次回は
令和3年7月31日発行予定です

発行/湖西市議会 議会だより編集委員会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791 / FAX.053-576-0331
<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

湖西市議会HPも
ご覧ください

